

平成 年 月 日

記入例

接続検討申込書  
(特別高圧版)

申込日をご記入下さい。

東京電力株式会社

●●支社 支社長 殿

申込者

印

系統アクセスの申込みに先立ち、系統アクセスに伴う供給設備の新たな施設または変更についての検討を、以下のとおり申込みます。

記

1. 契約者名	当社と受給契約を締結されるご契約者名をご記入下さい。尚、未定の場合は申込者名をご記入下さい。
2. 発電者名	接続検討を申し込まれる発電者名をご記入下さい。
3. 発電場所	接続検討を申し込まれる発電場所をご記入下さい。
4. 受電地点 (注)	発電場所と同じ場合は「同上」、異なる場合はその地点をご記入下さい。
5. 当社との連系設備の有無 (有の場合設備名)	有 ・ 無  ( ) 新設の場合は「無」、既設連系設備が有る場合は「有」とし、設備名称 (送電線名称等) は必ずご記入下さい。
6. 連絡先 担当者名 住所 電話 FAX E-mail	今回のアクセス検討において、窓口となられる方の連絡先をご記入下さい。

(注) 受電地点とは・・・  
当社が、受給契約に係る電気を契約者から受電する地点をいいます。

様式 2

平成 年 月 日

申請者名

1. 希望日

(1) アクセス設備の運転開始希望日 (系統連系開始希望日) 年 月 日 (平成 年 月 日)

(2) 受給契約開始希望日 平成 年 月 日

2. 希望受電電圧

(1) 希望受電電圧 kV

・ 予備送電サービスの利用を希望する場合

希望する予備サービス A ・ B

3. 発電機の定格出力合計 [台数: 台] ※1

(1) 最大 kW (5℃) kW (15℃)

(2) 最小 kW (5℃)

(3) 発電機 太陽光発電等、外気温により発電出力が変化しない発電設備の場合は、(5℃)の欄に記入してください。 太陽光発電等、外気温により発電出力が変化しない発電設備の場合は、(5℃)の欄に記入してください。

4. 受電地点における受電電力 (同時最大受電電力)

(1) 最大 kW (5℃) kW (15℃) kW (33℃)

(2) 最小 kW (5℃) kW (15℃) kW (33℃)

(3) 受電地点における受電電力パターン 添付 様式5の5 参照

※1. ガスタービン等、外気温により発電出力が変化する場合には、各温度における発電出力を記入ください。

5. 自家消費電力 (自家消費者の場合) + 所内電力

・ 自家消費の有無 有 ・ 無

(1) 最大: kW 力率: %

(2) 最小: kW 力率: %

6. その他特記事項 (増設計画最終規模の情報等)

※接続検討申込書および本用紙は、必ず記載してください。  
 その他の用紙は、現時点でお分かりになる範囲で極力記載してください。  
 検討に必要な項目に記載がない場合は、別途確認させていただく場合があります。  
 また、該当項目が記載された資料を添付いただいても結構です。  
 ※「既存引込線と別引き込みを希望」「既存引込柱からの分岐希望」等お決まりの場合は「様式5の6」にご記入下さい。

記載内容に関するご説明

アクセス設備の運転開始希望日は電力会社から供給を受ける希望日を記載してください。  
 系統連系開始希望日は、発電設備の並列希望日を記載してください。

当社との受給契約開始希望日を記載してください。

ご希望の受電電圧を記載してください。

発電機の定格出力合計の最大値を記載してください。  
 太陽光発電等、外気温により発電出力が変化しない発電設備の場合は、[5℃]の欄のみ記載してください。  
 発電機の定格出力合計の最小値を記載してください。  
 太陽光発電等、外気温により発電出力が変化しない発電設備の場合は、記載不要です。

※「受電電力」とは当社が契約者から受電する電力を言います。

受電地点における受電電力の最大値を記載してください。  
 太陽光発電等、外気温により発電出力が変化しない発電設備の場合は、[5℃]の欄のみ記載してください。  
 受電地点における受電電力の最小値を記載してください。  
 太陽光発電等、外気温により発電出力が変化しない発電設備の場合は、記載不要です。

自家消費電力の有無について記載してください。

発電した電力のうち、自家消費する電力(所内電力を含む)の最大値とその負荷の力率を記載してください。

発電した電力のうち、自家消費する電力(所内電力を含む)の最小値とその負荷の力率を記載してください。

接続検討時に記載いただきたい項目  
接続検討時に記載いただきたい項目(発電容量が10万kWを超える場合)

本申込み迄に明示いただきたい項目  
お分かりになる範囲で記載いただきたい項目

様式 3

平成 年 月 日

発電設備仕様 (同期機)

発電設備設置者名

1 号発電機  
( 既設 **新設** 増設)

1. 全般

(1) 原動機の種類 (蒸気タービン、ガスタービン、内燃機関など)	風力発電
(2) 発電機台数	2 [台]

2. 交流発電機

(1) メーカー・型式	【メーカー】	【型式】
(2) 電気方式	三相3線式 ・ 単相3線式 ・ 単相2線式	
(3) 定格容量	1, 667 [kVA]	
(4) 定格出力	1, 500 [kW]	
(5) 出力変化範囲	[kW] ~ [kW]	出力変化速度 [kW/分]
(6) 定格電圧	3.3 [kV]	連続運転可能端子電圧 (定格比) [%]~ [%]
(7) 力率 (定格)	90 [%]	力率 (運転可能範囲) 遅れ 90 [%]~進み 95 [%]
(8) 定格周波数	50 [Hz]	
(9) 連続運転可能周波数	48.5 [Hz] ~ 50.5 [Hz]	
(10) 運転可能周波数 (秒)	47.5 [Hz] ~ 51.5 [Hz]	
(11) 励磁系	(a) 励磁方式	添付 様式5の1 参照
	(b) 自動電圧調整装置(AVR等)の有無・定数	有 添付 様式5の1 参照 ・ 無
	有の場合制御方式	AVR ・ APFR ・ その他 ( )
(c) 系統安定化装置(PSS)の有無・定数	有 (添付 様式5の1 参照) ・ 無	
(12) 调速機(ガバナ)の定数	添付 様式5の2 参照	
(13) 系統並解列箇所	添付 様式5の4 参照	
(14) 自動同期検定装置の有無	有 ・ 無	
(15) 発電機の飽和特性	添付 様式5の3 参照	
(16) 諸定数 (基準容量 10,000 kVA)	飽和値	不飽和値
(a) 直軸同期リアクタンス	(Xd) [%]	[%]
(b) 直軸過渡リアクタンス	(Xd') [%]	20 [%]
(c) 直軸初期過渡リアクタンス	(Xd'') [%]	[%]
(d) 直軸短絡過渡時定数(Td')	(Td')	[sec]
または直軸開路時定数(Tdo')	(Tdo')	[sec]
(e) 直軸短絡初期過渡時定数(Td'')	(Td'')	[sec]
または直軸開路初期時定数(Tdo'')	(Tdo'')	[sec]
(f) 横軸同期リアクタンス	(Xq) [%]	[%]
(g) 横軸過渡リアクタンス	(Xq') [%]	[%]
(h) 横軸初期過渡リアクタンス	(Xq'') [%]	[%]
(i) 横軸短絡過渡時定数(Tq')	(Tq')	[sec]
または横軸開路時定数(Tqo')	(Tqo')	[sec]
(j) 横軸短絡初期過渡時定数(Tq'')	(Tq'')	[sec]
または横軸開路初期時定数(Tqo'')	(Tqo'')	[sec]
(k) 電機子漏れリアクタンス	(Xl) [%]	[%]
(l) 電機子時定数	(Ta) [%]	[sec]
(m) 逆相リアクタンス	(X2) [%]	[%]
(n) 零相リアクタンス	(X0) [%]	[%]
(o) 慣性定数 (発電機+タービン合計値)	(2H) [MW・sec/MVA]	
(p) 励磁系頂上電圧 <sup>※1</sup>		[PU]
(q) 制動巻線	有 ・ 無 <sup>※2</sup>	

※1：励磁系頂上電圧は無負荷定格電圧運転時の励磁電圧を基準として記入

※2：制動巻線を有しているものと同等以上の乱調防止効果を有する資料を添付

【留意事項】

- 異なる仕様の発電機がある場合は、本様式を複写し、仕様毎に記入してください。
- 系統安定度の検討などで、さらに詳細な資料を確認させていただく場合があります。

記載内容に関するご説明

原動機の種類を記載してください。(例:風力発電の場合、原動機=水力、発電機=誘導発電機or同期発電機)  
発電機の台数を記載してください。

電気方式を記載してください。  
発電機の容量を記載してください。  
発電機の定格出力を記載してください。

発電機の定格電圧を記載してください。  
発電機の定格力率、および運転できる力率の範囲を記載してください。

発電する際の周波数を記載してください。

自動電圧調整装置の有無を記載してください。

ご不明の場合は、発電機メーカーへお問い合わせください。

接続検討時に記載いただきたい項目  
接続検討時に記載いただきたい項目(発電容量が10万kWを超える場合)

本申込み送りに明示いただきたい項目  
お分かりになる範囲で記載いただきたい項目

様式 3

平成 年 月 日

発電設備仕様(誘導機)

発電設備設置者名

号発電機  
(既設・**新設**・増設)

1. 全般

(1) 原動機の種類(水力、内燃機関、風力など)	風力発電
(2) 発電機の種類(かご形、巻線形など)	
(3) 発電機台数	1 [台]

2. 交流発電機

(1) メーカー・型式	【メーカー】	【型式】
(2) 電気方式	三相3線式 ・ 単相3線式 ・ 単相2線式	
(3) 定格容量	2,000 [kVA]	
(4) 定格出力	[kW]	
(5) 定格電圧	3.3 [kV]	
(6) 力率(定格)	90 [%]	力率(運転可能範囲) 遅れ 90 [%]～進み 95 [%]
(7) 定格周波数	50 [Hz]	
(8) 系統並解列箇所	添付 様式5の4 参照	
(9) 諸定数(基準容量 2,000 kVA)		
(a) 拘束リアクタンス ( $X_i$ )	20 [%]	
(b) 限流リアクトル	容量	[kVA]
( 有(検討資料添付) ・ 無 )	%インピーダンス	[%]
(c) ソフトスタート機能の有無	<b>有</b> ・ 無	
(d) ソフトスタートによる突入電流制限値	[%]	
(e) 始動電流(ソフトスタート機能無の場合)	[A]	

【留意事項】

- 異なる仕様の発電機がある場合は、本様式を複写し、仕様毎に記入してください。
- 系統安定度の検討などで、さらに詳細な資料を確認させていただく場合があります。

記載内容に関するご説明

原動機の種類を記載してください。(例:風力発電の場合、原動機=水力、発電機=誘導発電機or同期発電機)

発電機の台数を記載してください。

電気方式を記載してください。

発電機の容量を記載してください。

発電機の定格出力を記載してください。

発電機の定格電圧を記載してください。

発電機の定格力率、および運転できる力率の範囲を記載してください。

ご不明の場合は、発電機メーカーへお問い合わせください。

:接続検討時に記載いただきたい項目  
 :接続検討時に記載いただきたい項目(発電容量が10万kWを超える場合)

:本申込み先に明示いただきたい項目  
 :お分かりになる範囲で記載いただきたい項目

平成 年 月 日

発電設備仕様 (二次励磁巻線形誘導機)

発電設備設置者名

1 号発電機  
 ( 既設  新設  増設 )

1. 全般

(1) 原動機の種類 (風力など)	風力発電
(2) 発電機台数	10[台]

2. 交流発電機

(1) メーカー・型式	【メーカー】	【型式】
(2) 電気方式	三相3線式 ・ 単相3線式 ・ 単相2線式	
(3) 定格容量	2,000	[kVA]
(4) 定格出力		[kW]
(5) 定格電圧	3.3	[kV]
(6) 力率	定格	90 [%] 遅れ 90 [%]～進み 95 [%]
	調整範囲	力率設定範囲: [%]～ [%]
		力率設定ステップ: [%]
(7) 定格周波数	50	[Hz]
(9) 連続運転可能周波数	48.5 [Hz] ～ 50.5 [Hz]	
(10) 運転可能周波数 (秒)	47.5 [Hz] ～ 51.5 [Hz]	
(10) 系統並解列箇所	添付 様式5の4 参照	
(11) 自動的に同期がとれる機能の有無	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無	
(12) 誘導発電機諸定数 (基準容量 2,000 kVA)		
(a) 拘束リアクタンス	(X <sub>t</sub> )	20 [%]
(13) 二次励磁装置種類		
(a) 主回路方式	他励式インバータ 其他 ( )	
	<input checked="" type="radio"/> 電圧型 ・ <input type="radio"/> 電流型	
(b) 出力制御方式	電圧制御方式 ・ 電流制御方式	
	<input checked="" type="radio"/> PWM ・ <input type="radio"/> PAM (サイリスタ)	
(14) 事故時運転継続 (FRT) 要件適用の有無	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無	
(15) 高調波電流歪率	総合	[%]
	各次最大	第 次 [%]

【留意事項】

- 異なる仕様の発電機がある場合は、本様式を複写し、仕様毎に記入して下さい。
- 系統安定度の検討などで、さらに詳細な資料を確認させていただく場合があります。

記載内容に関するご説明

原動機の種類を記載してください。(例:風力発電の場合、原動機=水力、発電機=誘導発電機or同期発電機)  
 発電機の台数を記載してください。

電気方式を記載してください。

発電機の容量を記載してください。

発電機の定格出力を記載してください。

発電機の定格電圧を記載してください。

発電機の定格力率, および運転できる力率の範囲を記載してください。

発電する際の周波数を記載してください。

インバータの主回路方式(転流方式を含む)を記載してください。  
(※スイッチング方式ではございません。)

インバータの出力制御方式を記載してください。

接続検討時に記載いただきたい項目

本申込み先に明示いただきたい項目

様式 3

接続検討時に記載いただきたい項目(発電容量が10万kWを超える場合)

お分かりになる範囲で記載いただきたい項目

平成 年 月 日

発電設備仕様 (逆変換装置)

発電設備設置者名

1 号発電機

( 既設  新設  増設 )

1. 全般

(1) 原動機の種類 (風力, 太陽光など)	太陽光発電
(2) 台数 (逆変換装置またはPCSの台数)	3 [台]

2. 逆変換装置

(1) メーカー・型式	【メーカー】	【型式】
(2) 電気方式	<input checked="" type="radio"/> 三相3線式 <input type="radio"/> 単相3線式 <input type="radio"/> 単相2線式	
(3) 定格容量	1,000	[kVA]
(4) 定格出力	1,000	[kW]
(5) 出力変化範囲	[kW] ~	[kW]
(6) 定格電圧	202	[kV]
(7) 力率 (定格)	95	[%]
(8) 力率 (運転可能範囲)	遅れ 90 [%] ~ 進み 100 [%]	
(9) 定格周波数	50	[Hz]
(10) 連続運転可能周波数	48.5 [Hz] ~ 50.5 [Hz]	
(11) 運転可能周波数 (秒)	47.5 [Hz] ~ 51.5 [Hz]	
(12) 自動電圧調整機能	進相無効電力制御機能・出力制御機能・その他 ( )	
(13) 自動同期検定機能 (自励式の場合)	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無	
(14) 系統並解列箇所	添付 様式5の4 参照	
(15) 通電電流制限値	120	[%]
	10	[sec]
(16) 主回路方式	自励式 ( <input checked="" type="radio"/> 電圧形 <input type="radio"/> 電流形 )	
	他励式	
(17) 出力制御方式	電圧制御方式・電流制御方式・その他 ( )	
(18) 事故時運転継続 (FRT) 要件適用の有無	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無	
(19) 高調波電流歪率	総合	[%]
	各次最大	第 次 [%]

【留意事項】

- 異なる仕様の逆変換装置がある場合は、本様式を複写し、仕様毎に記入してください。
- 電圧変動の検討などで、さらに詳細な資料を確認させていただく場合があります。

記載内容に関するご説明

原動機の種類を記載してください。(例:風力発電の場合,原動機=水力,発電機=誘導発電機or同期発電機)  
 発電機の台数を記載してください。

電気方式を記載してください。

発電機の容量を記載してください。

発電機の定格出力を記載してください。

発電機の定格電圧を記載してください。

発電機の定格力率,および運転できる力率の範囲を記載してください。

発電する際の周波数を記載してください。

自動電圧調整装置の有無を記載ください。

逆変換装置の最大短絡電流ならびにその遮断時間について記載してください。  
 ※機器未定の場合など記載が無い場合はPCS容量の1.5倍として検討させていただきます。

インバータの主回路方式(転流方式を含む)を記載してください。  
 (※スイッチング方式ではございません。)

インバータの出力制御方式を記載してください。

: 接続検討時に記載いただきたい項目  
 : 接続検討時に記載いただきたい項目 (発電容量が10万kWを超える場合)

: 本申込み迄に明示いただきたい項目  
 : お分かりになる範囲で記載いただきたい項目

保護装置

発電設備設置者名

3. 保護継電器整定値一覧表

保護継電器の種別	リレー DevNo.	設置 相数	遮断箇所 (CBNo.)	継電器 製造者・型式	整 定 範 囲	CT比	VT比	申請整定値	備 考
構 内 事 故	OCR	51	2	CB1, CB2					
	OCGR	51	1	CB1, CB2					
系 統 事 故	DSR	67	3	CB3					
	OVGR	64	1	CB3					
発 電 機 事 故	OVR	59	1	CB3					
	UVR	27	1	CB3					
単 独 運 転 防 止	UFR	95	1	CB3					
	OFR	95	1	CB3					

↑ 判る範囲で記載 (空欄でもよい)

※保護継電装置ブロック図を様式5の9に示す。

【留意事項】

○ 連系する電圧や発電機形態により、系統連系規程で定める必要な保護装置について記載してください。

接続検討時に記載いただきたい項目

本申込み先に明示いただきたい項目

様式 4

接続検討時に記載いただきたい項目(発電容量が10万kWを超える場合)

お分かりになる範囲で記載いただきたい項目

平成 年 月 日

変圧器および線路

発電設備設置者名

1. 連系用変圧器

(1) メーカー・型式	【メーカー】		【型式】	
(2) 名称	変圧器番号 <sup>※1</sup> (添付 様式5の4 参照)			
(3) 定格容量 (1次/2次/3次)			5, 000	[kVA]
(4) 定格電圧 (1次/2次/3次)			66/3.3	[kV]
(5) 結線方法				
(6) タップ切替器	無電圧タップ切換	有・無	タップ数	
			タップ電圧	[kV]
	負荷時タップ切換	有・無	タップ数	5
			電圧調整範囲	9.0, 61.5, 64.0, 66.5, 69.0
(7) %インピーダンス (基準容量 10,000kVA)	Xps	Xst	Xtp	[%]
(8) 中性点接地方式 (電力系統側中性点)	直接接地・抵抗接地・非接地・その他 ( )			
(9) 台数			1	[台]
(10) 昇圧対象発電設備 (昇圧変圧器の場合)				

※1: 様式5の4に記載の対象変圧器の番号を記載

※2: Xps (1次-2次), Xst (2次-3次), Xtp (3次-1次)

2. その他の変圧器

(1) メーカー・型式	【メーカー】		【型式】	
(2) 名称	変圧器番号 <sup>※3</sup> (添付 様式5の4 参照)			
(3) 定格容量 (1次/2次/3次)				[kVA]
(4) 定格電圧 (1次/2次/3次)				[kV]
(5) 結線方法				
(6) タップ切替器	無電圧タップ切換	有・無	タップ数	
			タップ電圧	[kV]
	負荷時タップ切換	有・無	タップ数	
			電圧調整範囲	[kV]
(7) %インピーダンス (基準容量 10,000kVA)	Xps	Xst	Xtp	[%]
(8) 台数				[台]
(9) 昇圧対象発電設備 (昇圧変圧器の場合)				

※3: 様式5の4に記載の対象変圧器の番号を記載

※4: Xps (1次-2次), Xst (2次-3次), Xtp (3次-1次)

【変圧器に関する留意事項】

- 異なる仕様の変圧器がある場合は、本様式を複写し、仕様毎に記入してください。
- 必要により、変圧器の励磁特性を確認させていただく場合があります。

3. 線路

(1) インピーダンス	添付 様式5の11 参照
-------------	--------------

【留意事項】

- 発電設備から連系点までの線路こう長が長い場合に記載してください。

記載内容に関するご説明

変圧器の名称または、呼称番号等を記載してください。  
1次・2次・3次側で容量が違う場合は、それぞれの定格容量を記載してください。  
連系用変圧器の定格電圧について記載してください。

受電用変圧器のタップ数ならびに各タップの電圧値を記載してください。

受電用変圧器の%インピーダンスを記載してください。

希望する受電電圧が154kV以上の場合は記載してください。

受電用変圧器の台数を記載してください。

昇圧用変圧器を兼ねる場合は、「昇圧用」と記載してください。

変圧器の名称または、呼称番号等を記載してください。

1次・2次・3次側で容量が違う場合は、それぞれの定格容量を記載してください。

連系用変圧器の定格電圧について記載してください。

変圧器のタップ数ならびに各タップの電圧値を記載してください。

受電用変圧器の%インピーダンスを記載してください。

受電用変圧器の台数を記載してください。

昇圧用変圧器を兼ねる場合は、「昇圧用」と記載してください。

接続検討時に記載いただきたい項目

本申込み先に明示いただきたい項目

様式 4

接続検討時に記載いただきたい項目(発電容量が10万kWを超える場合)

お分かりになる範囲で記載いただきたい項目

平成 年 月 日

受電設備および負荷設備

発電設備設置者名

4. 受電設備

(1) 絶縁方式	気中絶縁 ・ ガス絶縁 ・ その他( )
----------	----------------------

5. 連系用遮断器

(1) メーカー・型式	【メーカー】	【型式】
(2) 定格電圧		72 [kV]
(3) 定格電流		2,000 [A]
(4) 定格遮断電流		[kA]
(5) 定格遮断時間		[サイクル・sec]

6. 調相設備<sup>※5</sup>

(1) 種類	リアクトル付連相コンデンサ	
(2) 電圧別容量	特別高圧	
	高圧	3.3kV 2,000kvar 2台
	低圧	
(3) 合計容量	4,000 kvar	
(4) 自動力率制御装置の有無	有	無

※5：様式2の自家消費電力の力率に調相設備を含む場合は不要

7. 高調波発生機器

( 有 ・ 無 )

【留意事項】

○ 高調波発生機器を有する場合には、別紙「高調波流出電流計算書」を提出してください。

8. 電圧フリッカ発生源

( 有 ・ 無 )

電圧フリッカの発生源と対策設備の概要

電圧フリッカの発生源と対策設備の概要の記入欄

【留意事項】

○ 電圧フリッカ対策検討資料を添付してください。

9. 不平衡負荷

( 有 ・ 無 )

不平衡負荷の概要

不平衡負荷の概要の記入欄

10. 特記事項

記載内容に関するご説明

※この項は、「様式2の自家消費電力の力率」に調相設備を含む場合は記載不要です。

調相設備の種類について記載してください。

特別高圧調相設備の容量について記載してください。

高圧調相設備の容量について記載してください。

低圧調相設備の容量について記載してください。

調相設備の合計容量について記載してください。

自動力率調整装置の有無について記載してください。

高調波発生機器の有無について記載してください。

高調波発生機器を有する場合には、別紙「高調波発生機器からの高調波流出計算書」を提出してください。

電圧フリッカ発生源の有無について記載してください。

電圧フリッカ発生源が有る場合、電圧フリッカ対策設備の概要について記載してください。

不平衡負荷の有無について記載してください。

不平衡負荷が有る場合、不平衡負荷の概要について記載してください。

### 高調波流出電流計算書(その1)

発電設備設置者名 \_\_\_\_\_

受電電圧 \_\_\_\_\_ kV      ①契約電力相当値 \_\_\_\_\_ kW

第1ステップ										第2ステップ										
高調波発生機器				相数	② ※ 定格入力 容量 [kVA]	③ 台数	④=②×③ 定格入力 容量 (合計) Pi [kVA]	⑤ 回路 種別No.	⑥ 換算 係数 Ki	⑦=④×⑥ 等価 容量 Ki×Pi [kVA]	⑨ ※ 定格入力 電流 (受電電圧 換算値) [mA]	⑩ 最大 稼働率 k [%]	⑪=⑨×高調波発生量×⑩ 高調波流出電流[mA]							
No.	機器名称	製造業者	型式										5次	7次	11次	13次	17次	19次	23次	25次
1																				
2																				
3																				
4																				
5																				
6																				
7																				
8																				
9																				
10																				
11																				
12																				
13																				
14																				
15																				
16																				
17																				
18																				
19																				
20																				
					⑧ = Σ⑦      合計 P <sub>0</sub>							⑫ 合計 I <sub>n</sub>								
					限度値 [kVA]							対策要否判定								
					第2ステップの検討要否判定															

・第1ステップによる等価容量合計⑧が、300kVA（22、33kV受電）または2,000kVA（66kV以上受電）を超える場合は、第2ステップへ

・第2ステップにおいて、各次数について、高調波流出電流⑫>高調波流出電流上限値⑬ならば  
 - 構内に高調波を低減する設備がある場合・抑制対策を実施している場合は、計算書（その2）へ  
 - 上記以外の場合は、別途対策を要する。

**【留意事項】**

○様式4別紙1および別紙2は、高調波抑制対策技術指針(JEAG9702)に従って記載願います。

高調波流出電流の上限値								
⑬=契約電力相当値1kW当たりの高調波流出電流の上限値×①								
次 数	5次	7次	11次	13次	17次	19次	23次	25次
上限値 [mA]								

※厳密には、②に基本波入力容量、⑨に基本波入力電流を用いて計算することが望ましいが、定格入力容量、定格入力電流を用いて計算してもよい。

### 高調波流出電流計算書(その2)

発電設備設置者名 \_\_\_\_\_

受電電圧 \_\_\_\_\_ kV    ①契約電力相当値 \_\_\_\_\_ kW

構内単線結線図 高調波発生機器, 受電用変圧器, 高調波を低減する機器の設置位置・諸元・電気定数等, 計算に必要な情報を必ず記載する。

高調波流出電流の詳細計算と抑制対策の検討 指針202-1の2.の「(4) 高調波流出電流の詳細計算と抑制対策の検討」の実施結果として, 高調波流出電流の計算過程を具体的に記載する。

	5次	7次	11次	13次	17次	19次	23次	25次
計算書(その1)の高調波流出電流 [mA]								
低減後の高調波流出電流 [mA]								
高調波流出電流の上限値 [mA]								
対策要否判定								

(注) 本様式により難しい場合は, 別の様式を用いてもよい。

: 接続検討時に記載いただきたい項目

: 接続検討時に記載いただきたい項目(発電容量が10万kWを超える場合)

: 本申込み迄に明示いただきたい項目

: お分かりになる範囲で記載いただきたい項目

平成 年 月 日

監視制御

発電設備設置者名

11. 通信形態

保安通信用電話	通信回線形態	
	設置場所	・ 発電設備設置地点 ・ その他 (名称 住所 )
情報伝送装置	通信回線形態	
	装置の種類	CDT方式 ・ その他 ( )
	設置場所	・ 発電設備設置地点 ・ その他 (名称 住所 )

12. 監視制御方式

監視制御方式	常時監視制御方式・遠隔常時監視制御方式・随時監視制御方式・随時巡回方式 断続監視制御方式・遠隔断続監視制御方式・簡易監視方式
--------	---

※用紙の大きさは、日本工業規格A3またはA4サイズとしてください。

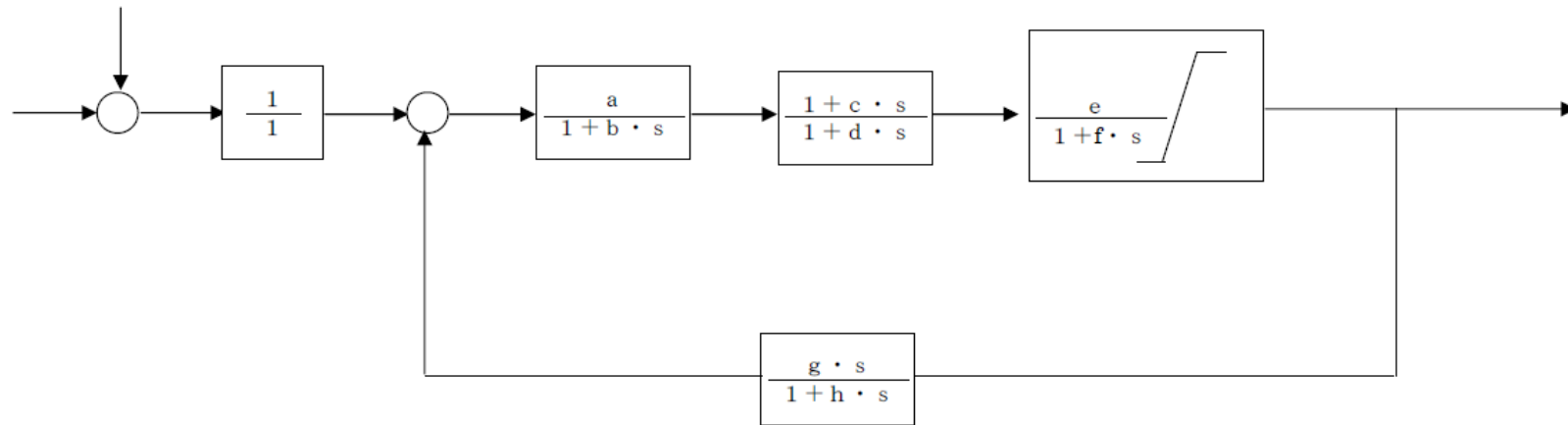
平成 年 月 日

発電設備設置者名

発電機制御系ブロック図  
- 励磁系 -

接続検討時に記載いただきたい項目(発電容量が10万kWを超える場合)  
記載のない場合は、当社の標準的な仕様で検討させていただきます。

(例)



※系統安定度の確認が必要な場合に、ご提出をお願いする場合があります。

※用紙の大きさは、日本工業規格A3またはA4サイズとしてください。

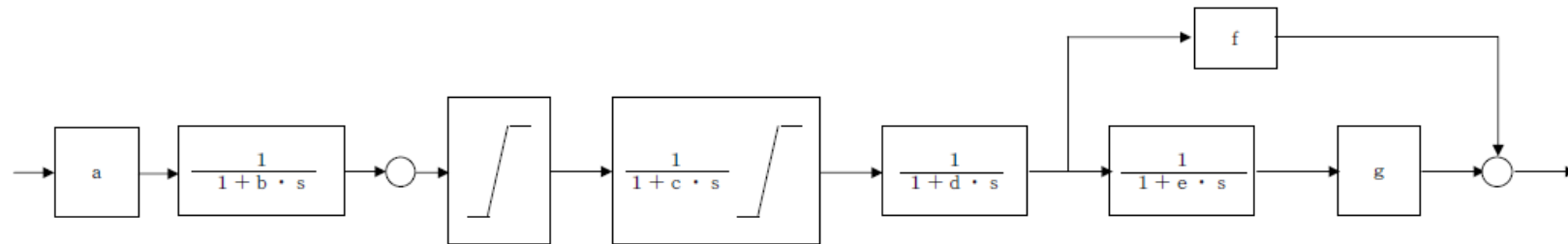
平成 年 月 日

発電設備設置者名

発電機制御系ブロック図  
- ガバナ系 -

接続検討時に記載いただきたい項目（発電容量が10万kWを超える場合）  
記載のない場合は、当社の標準的な仕様で検討させていただきます。

(例)



※系統安定度の確認が必要な場合に、ご提出をお願いする場合があります。

※用紙の大きさは、日本工業規格A3またはA4サイズとしてください。

平成 年 月 日

発電設備設置者名

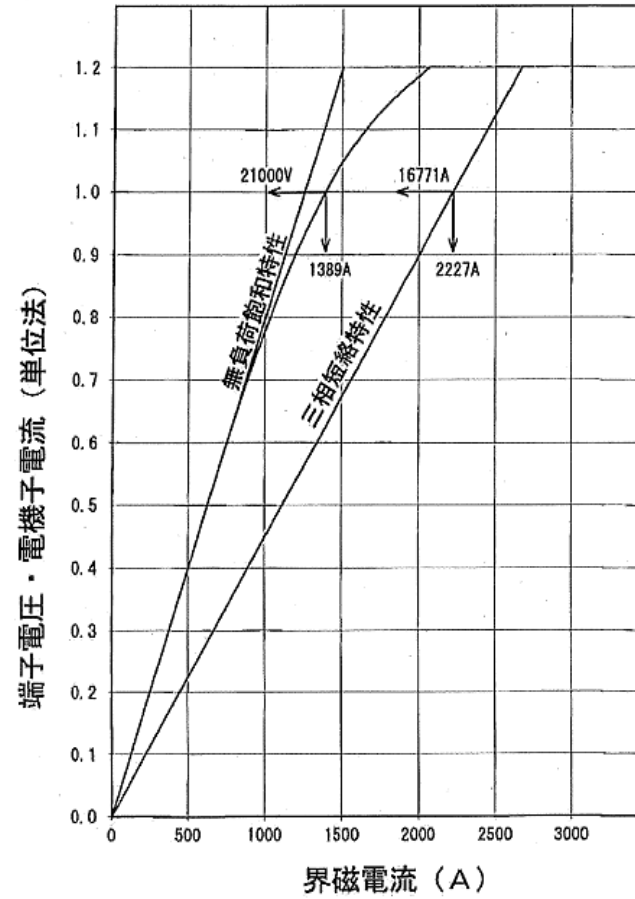
発電機の飽和特性

発電機 発電機飽和特性曲線

タービン発電機特性曲線

TAKS-2P- 3000rpm-1CH-21000V-16771A-50Hz-0.90PF

水素圧 410 kPa・g



※用紙の大きさは、日本工業規格A3またはA4サイズとしてください。

平成 年 月 日

発電設備設置者名 \_\_\_\_\_

単線結線図

接続検討時に記載いただきたい項目

発電機、昇圧用変圧器、連系用変圧器等の単線図を添付してください。

※縮小形連系設備を使用される場合、専用の直結形VCTを設置させていただきます。

なお、VCT接続部の仕様(油もしくはガス)により、設置費用が変動しますので、VCT仕様を記載してください。(記載のない場合は、油タイプとして検討させていただきます。)

※用紙の大きさは、日本工業規格A3またはA4サイズとしてください。

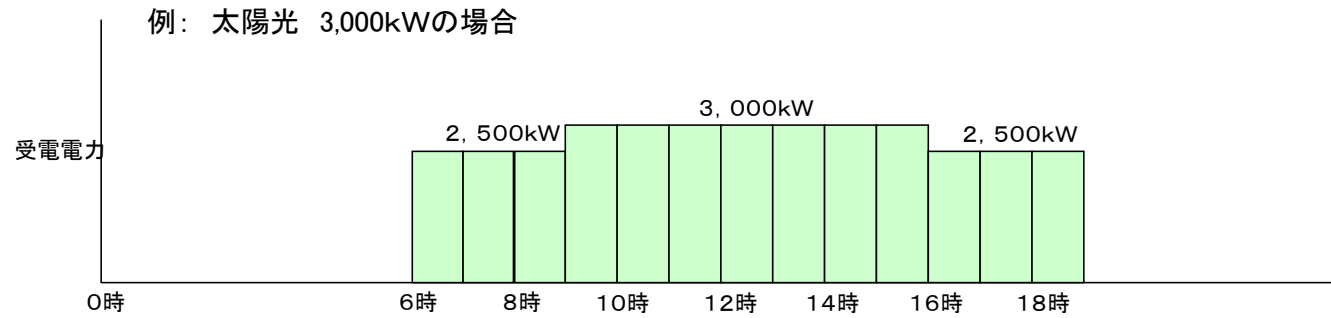
平成 年 月 日

発電設備設置者名 \_\_\_\_\_

設 備 運 用 方 法

ー 発電機運転パターン、受電地点における受電電力パターン ー

接続検討時に記載いただきたい項目  
受電電力(当社が契約者から受電する電気の電力をいいます)の運転パターンを記載してください。  
※時間毎の受電電力が不明の場合は、様式2「4. 受電地点における受電電力(同時最大受電電力)」により検討させていただきます。



※用紙の大きさは、日本工業規格A3またはA4サイズとしてください。

平成 年 月 日

発電設備設置者名 \_\_\_\_\_

設 備 配 置 関 連  
— 主要設備レイアウト図 —

電気設備(受電設備・発電設備等), 引込み位置, 計量器設置位置を記載してください。  
(未定の場合は希望位置を記載してください)

縮 尺

1 /

※計量器・VCT・通信端末ならびに受電設備の設置場所がわかるように記載してください。  
※通信ケーブルの引込ルートの指定があればわかるように記載してください。

(必ずご記入ください)

※用紙の大きさは、日本工業規格A3またはA4サイズとしてください。

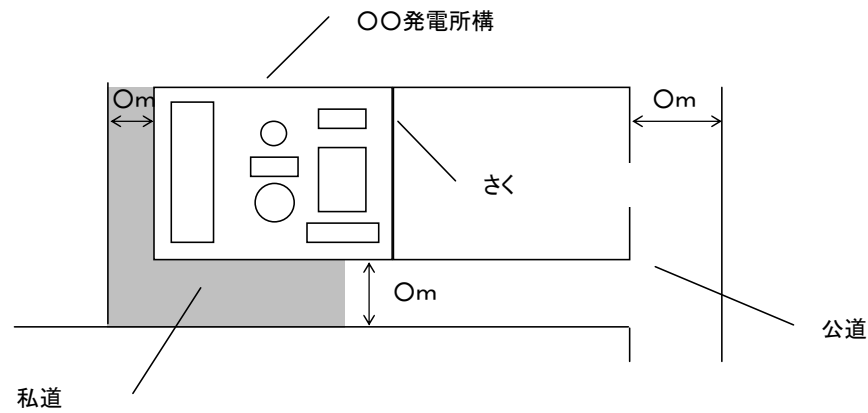
平成 年 月 日

発電設備設置者名

設備配置関連  
敷地平面図

隣接する土地と明確にしゃ断されていることが解かるよう記載してください。  
※1発電場所とは、1構内又は1建物としており、構内とは、柵・塀・その他の客観的なしゃ断物によって明確に区画された区域をいい、建物とは、独立した建物をいいます。

(例)



縮 尺	1 / (必ずご記入ください)
-----	--------------------

※用紙の大きさは、日本工業規格A3またはA4サイズとしてください。

平成 年 月 日

発電設備設置者名

発電場所周辺地図

縮 尺

1 /

(必ずご記入ください)

※用紙の大きさは、日本工業規格A3またはA4サイズとしてください。

平成 年 月 日

発電設備設置者名

保護継電装置ブロック図

判る範囲でご記載願います

※用紙の大きさは、日本工業規格A3またはA4サイズとしてください。

平成 年 月 日

発電設備設置者名

制 御 電 源 回 路 図

判る範囲でご記載願います



※用紙の大きさは、日本工業規格A3またはA4サイズとしてください。

平成 年 月 日

発電設備設置者名

工 事 工 程 表

工程表内に、アクセス設備の運転開始希望日、系統連系開始希望日等を記載してください。